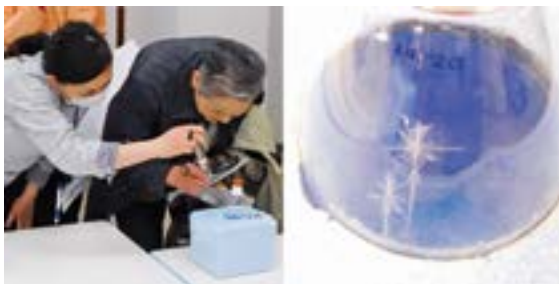


科学技術週間（雪氷防災研究センター）一般公開

雪氷防災研究センター（長岡）では、4月21日（金）午後から22日（土）にわたって一般公開を開催しました。240名の方が見学に来られましたが、学校の授業参観と重なったこともあり、子供の数はあまり多くありませんでした。

−5℃と−20℃の低温室などを活用して、雪と氷に関する様々な実験や観察を体験してもらうコーナーでは、ダイヤモンドダスト・過冷却

水・凍るシャボン玉などが好評でした。とくに今回は見学者全員にセンターの名前入りの軍手を配布し、低温室見学時に重宝していただきました。そのほか、雪崩などの雪氷災害に関する模擬実験やパネル展示なども行い、雪氷現象の面白さだけでなく危険性も伝わるように工夫しながら説明を行いました。



見学者による人工雪の作成実験



巨大霜柱の展示

「JpGU-AGU Joint Meeting 2017」

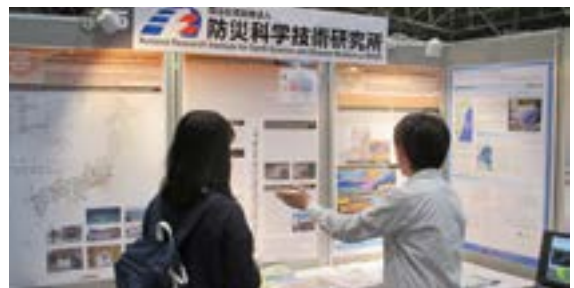
2017年5月20日～25日にかけて幕張メッセにおいて「JpGU-AGU Joint Meeting 2017」が開催されました。今年度は日本地球惑星科学連合大会と米国地球物理学連合大会の初めての共同主催となりました。

ブース展示では防災科研が取り組む研究活動を紹介し、特に全国に広がる地震津波火山観測網や地震津波予測技術の戦略的高度化プロジェクト、海底地震津波観測網で得られた成果などを紹介しました。

また、前回も好評だったスタンプラリーに参加し、多くの方にブースに足を運んでいただき

ました。

学生や海外からの参加者も来場され、多くの方に防災科研の取り組みを紹介することができました。



行事開催報告

「第21回自治体総合フェア2017 地域社会に活力を与えるイノベーション」

5月24～26日に東京ビッグサイトにおいて、第21回自治体総合フェア2017が開催されました。防災科研は、プレゼンテーションセミナーでの講演と展示会へのブース出展を行いました。

プレゼンテーションセミナーでは、「大規模災害時における情報共有・利活用の課題と展望～SIP4D～」と題し臼田裕一郎総合防災情報センター長が、熊本地震の際の府省庁連携防災情報共有システム(SIP4D)を用いた支援と今後の展望についての講演を行いました。

また、ブース展示では、自治体の防災担当者、



地域防災リーダーに防災対策手法・実践事例を提供する「地域防災Web」やプレゼンテーションセミナーで紹介された戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)「レジリエントな防災・減災機能の強化」の研究成果を紹介しました。

いずれも参加者から多くの関心を集めていました。



行事開催報告

第4回「震災対策技術展」大阪

6月1・2日開催の第4回「震災対策技術展」大阪にて、E-ディフェンスの実験施設と研究成果の紹介と、地震被害の仮想現実(VR)体験システムのデモンストレーションを行いました。

開催期間中、前回を上回る1万2千人の方がご来場されました。初日には林理事長による「平成28年熊本地震における生活再建支援業務の教訓」と題し講演が行われ、多数の方が聴講されました。

展示ブースでは、E-ディフェンスの施設説明の他にデモンストレーションを行い、E-ディフェンス実験から取得した建物室内の地震被害映像などをご体験いただきました。今後、体験後にご記載のアンケートの結果を取り入れ、地震防災教育や耐震診断・対策への意識啓発などへ効果的に活用できるシステムの研究開発に取り組んでいきたいと思っております。



写真1 開会式

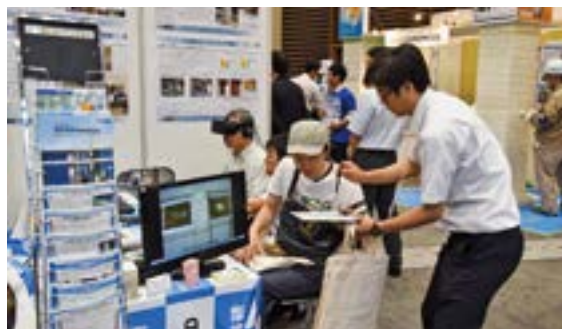


写真2 展示ブースの様子

受賞報告

平成29年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞(開発部門)受賞

白田裕一郎総合防災情報センター長(社会防災システム研究部門副部門長兼務)、田口仁客員研究員(内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(地方・訓練担当)付参事官補佐)、李泰榮主任研究員が「災害対応支援のための情報共有及び利活用基盤の開発」により、平成29年度科学技術分野の文部科学大臣表彰を受けました。

本表彰では、情報共有・利活用基盤である「eコミュニティ・プラットフォーム」の開発と活用成果が高く評価されました。約10年前に、地域コミュニティでの事前防災を支援する仕組として研究開発を始めた「eコミ」は、東日本大震災における災害対応支援の経験を経て、自治

体の災害対応を支援する「官民協働危機管理クラウドシステム」、国の災害対応を支援する「府省庁連携防災情報共有システム(SIP4D)」、災害時の情報集約・提供サイト「防災科研クライシスレスポンスサイト(NIED-CRS)」等の研究開発へと発展し、今に至っています。

白田裕一郎総合防災情報センター長らは、「これらの研究開発と一緒に取り組んでくださった、防災対策や災害対応を行う現場の方々、研究者の方々、防災科研職員の方々に感謝申し上げますとともに、今後も「現場との協働」を常に大事に、さらなる研究開発を推進してまいります」と語っています。



白田裕一郎総合防災情報センター長(中央)、田口仁客員研究員(左)、李泰榮主任研究員(右)

受賞報告

2016年度日本地震学会若手学術奨励賞を受賞

地震津波防災研究部門の武村俊介特別研究員が、2016年度日本地震学会若手学術奨励賞を受賞しました。この賞は、すぐれた研究により地震学の分野で特に顕著な業績をあげた35歳以下の会員に贈られます。

武村俊介特別研究員は、「防災科学技術研究所が管理する基盤的地震観測網のデータから地震波伝播の特徴を抽出し、地震動シミュレーションにより、その特徴を再現する不均質構造モデルを模索するという研究スタイルでこれまで研究を続けてきました。観測網の運用に携わってこられた皆様、地震動シミュレーション

の分野を切り開いて来られた皆様にも深く感謝申し上げます」と語っています。



公益社団法人日本地震学会会長 山岡耕春先生(左)
武村俊介特別研究員(右)

受賞報告

兵庫耐震工学研究センターが日本地震工学会功績賞他を受賞

兵庫耐震工学研究センターが、「世界最大の3次元振動台の整備と運用による地震工学および地震防災の進歩と発展に対する貢献」で、平成28年度日本地震工学会功績賞を受賞しました。

また、梶原浩一センター長が、平成29年度兵庫県功労者表彰(防災部門)を受けました。これは、兵庫県政の伸展、公共の福祉増進に功労のあった者、その他広く県民の模範となった者のうち、特に功績顕著な者を表彰するものです。

梶原センター長は、「Eーディフェンスの運用を開始してから13年目を迎えました。これまで多くの方々のご尽力とご支援により実験研究を継続できました。関係各位へ心より感謝を申し上げます。この度の表彰は、これまでの研究活動に加え、皆様のご支援による成果が認

められたものとして大変嬉しく思っています。引き続きEーディフェンスの整備と運用に細心の注意を配し、国民に貢献する実験・研究を進めてまいります」と語っています。



日本地震工学会 目黒公郎会長(左)、梶原浩一センター長(右)

受賞報告

日本火山学会学生論文賞、2017年度日本火山学会論文賞を受賞

火山防災研究部門の山田大志特別研究員が共同研究者として執筆に参加した「Volcanic eruption volume flux estimations from very long period infrasound signals」が日本火山学会の日本火山学会学生論文賞受賞対象論文となり、山田大志特別研究員が同賞を受賞しました。

また、火山研究推進センターの中田節也センター長、長井雅史特別研究員らによる論文が、2017年度日本火山学会論文賞を受賞しました。

本論文は、社会的に注目を浴びた御嶽2014年噴火に関して、火口近傍堆積物の火山地質学的解析に、実際の噴火映像も加味して、噴火過程を明らかにしたものです。

中田節也センター長らは、「私たちが担った研究がこのような形で評価

して頂けたことを非常に光栄に思います。今後も噴火現象の実態解明と火山防災の推進に尽力して参りたいと思いますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひします」と語っています。



一般公開(つくば本所) 2017年4月23日(日)つくば本所

科学技術週間に合わせ一般公開「ぼうさいミュージアム～その時に備えて^{プラス}～」を開催しました。

各イベント工夫を凝らして行い、今回は1400名を越える方にご参加頂きました。

「科学実験屋台村」では、各研究部門が、来場者と実験・工作を行い、様々なことを学んで頂き、講演会場「研究者のお話」では、6名が登壇し熊本地震に関する話をしました。また、今回

は体験を出来るイベントとして地震ザブトンに加え新たに地震被害のVR体験を実施しました。

大型降雨実験施設では1時間降雨量300mmの豪雨体験、大型耐震実験施設ではDr.ナダレンジャーが発泡スチロールのブロック1000個で大きなタワーを作り、大地震を発生させて倒壊する実験を行いました。今年の一般公開も大盛況に行われました。



【ゲリラ豪雨ってどんな感じ? -豪雨体験】



【台風の目、見えるかな? -台風を観察しよう】



【メントスコラ火山で噴火実験】



【地震計ってなんだろう? -ペットボトルで地震計をつくってみよう】



【熊本地震を体験中-地震ザブトン】



【迫力満点! Dr.ナダレンジャーとブロック1000個で大地震】

編集・発行



国立研究開発法人 防災科学技術研究所

〒305-0006 茨城県つくば市天王台3-1 企画部広報課

TEL.029-863-7768 FAX.029-863-7699

URL : <http://www.bosai.go.jp> e-mail : k-news@bosai.go.jp

発行日

2017年6月30日発行 ※防災科研ニュースはWebでもご覧いただけます。